

サークル紹介

サッカーデ

全国大会出場を目指して

教育学部教科教育学科三年

我が体育会サッカー部は、現在、部員約五十名・マネージャー六名で、平日は東千田キャンパスと西条キャンパスに分かれて練習、土、日は合同練習をしています。全員で練習する機会が少なく、問題の残る期間でしたが、今年の四月には新入部員も迎え、総合科学部の移転にも伴い、部員のほとんどが西条キャンパスでの練習に参加できるようになります。



山岳部

教育学部心理学科一年

フリーアライミング

常田修

92年度の山岳部の活動は、夏山登山、沢登り（山中の川の中を歩いたり、時には泳いだりして行くもの）、冬山登山、フリークライミングといったものである。この中のフリークライミングの紹介をしようと思う。

今まで以上に充実した練習ができるなどを期待しています。さらに昨秋、中国の北京体育学院から王民享コーチを招き、レベル向上を目指してがんばっています。（王先生は中国語と露語を話されるので、部員はボディーランゲージでコミュニケーションをとり、指導を受けています）

昨年は、惜しくも全国大会へ出場することはできませんでした。しかし、中国五大学対抗戦では四連覇を果たし、来年度に向けての意欲は満々です。現在は、「悲観的に準備して、楽観的に戦う」をスローガンに、四月から始まる総理大臣杯を目標にしてがんばっています。

Jリーグの開幕と共にサッカーが注目されはじめた今、広島大学体育会サッカー部も、全国大会出場を目指して、また、地域サッカーの向上を願つて頑張つていきたいと思います。

そのようなきわどい壁を登る為、落ちることもあるので安全対策がとられており、落ちてもせいぜい三メートル程しか落ちないようになつております。ケガを負うことも少ない。私は何回か落ちたことがあるが、ケガらしいケガは負つたことがない。フリークライミングの面白さは、自分がすごいことをしていると錯覚してしまうところにあるのかもしれない。

(実際は大したことはないのだが) 目の前にそびえ立つ壁を三十メートルぐらい自分の体だけで登つてしまふと、俺はすごい奴なんだと思いつつある。又、適度な難しさやスリルがあるて、それを乗り越えて登りきった時の気分は非常に爽快でもある。

A black and white photograph capturing a vast, rugged mountain landscape. The foreground is dominated by a steep, light-colored slope, possibly snow or scree, which descends from the right side of the frame towards the left. Two small, dark figures are positioned on this slope: one is near the base, and another is further up the incline. In the background, a range of dark, jagged mountain peaks rises against a bright, overexposed sky. The lighting creates strong shadows on the mountain faces, emphasizing their verticality and texture.